

日中友好のしんぶん

日本と中国

東京版

ボランティア宅本便
 皆さまのご自宅に眠って
 いる本・CD・DVD・ゲーム
 などはありませんか？
 東京都日中友好協会は
 ブックオフオンライン株式会
 社のご協力で「本で日中友
 好促進！」事業を行ってい
 ます。詳細は→
<http://www.jcfa-tyo.net/iin/zaisei/takuhon/>

リニューアル第14号(2019年7月1日発行)付録
 発行:認定NPO法人東京都日本中国友好協会
 所在地:〒113-0033
 東京都文京区本郷3-4-5 ハイムお茶の水702
 ☎ 03-3295-8241 📠 03-3295-8255
 ホームページ:<http://www.jcfa-tyo.net>
 E-mail: to-nicchu@jcfa-tyo.net
 編集・発行:広報委員会 編集人:森山光伸

二面下段に役員名簿を記載しま
 した。御一読ください。

第5回通常総会開催(飯田橋 日中友好会館)

5月18日(土)に飯田橋・日中友好会館地下ホールにて第5回通常総会が開催された。

冒頭、宇都宮会長からの挨拶では、「会員数が昨年度より14名増加し、ここ数年深刻な会員減少傾向の中で、本協会への関心が高まり入会に繋がっていることを嬉しく思う」とのお言葉が印象的であった。また、約9年間当協会に多大なご支援とご協力をいただいた中国大使館の程永華大使、並びに汪婉夫人(友好交流部参事官)が大使交代となった為、帰国されるにあたり中国大使館へこれまでの感謝をお伝えしてきたとお話があった。

議事は、活動・事業報告、決算報告、監査報告と承認。栗山理事長から活動・事業計画案、松尾事務局から活動計算書予算案が出された。さらに財政改善を目的とした常務理事以上を対象の会費値上げ案(履行は2020年度から)と、それに伴う定款変更について。また本年は役員改選となるため、新役員選任も滞りなく承認された。

地区協会からの活動報告では、千代田区の松本亀次郎の記念映画を中国大使館へ寄贈した報告など、各地区日中から活発な近況を伺った。その後、各委員会と部会の活動報告も行われた。青年委員会が今年3月から配信開始した“都日中 channel”の上映もあり、協会の活動を若者に広めるために有意な取り組みであるとの声も。



第5回通常総会

総会後に行われた祝賀レセプションでは、中国大使館より今回から友好交流分野は、政治部付けになったため、政治部、倪健参事官のご来場をはじめ、孔子学院元学院長の西園寺氏や都議会議員の方も多数ご出席いただき、令和初の総会が盛大に行われた。(永野)

王^{おうは}覇

熟成ならではの
深い旨味とまるやかさ

モンドセレクション2017
6年連続
最高金賞

七日以上じっくり熟成させることで、豚肉の旨みを十分に引き出した特定JAS規格。しっとりとしたやわらかさと、熟成によって生み出された豊かな旨味をお楽しみいただけます。

確かのものを、贈りたい。

贈答品・景品

年間を通じてご用意いたします

丸大食品株式会社

東日本特販課

☎ 03-3647-3270

担当: 橋本 康弘

今年の日中青少年交流推進年の一つとして、北京市対友協(鄭順梅団長)が、派遣した「順義区文芸交流団」(一行15人)は、5月21日(火)目黒区青木英二区長のお取り計らいで区役所表敬訪問、昼から区内の私立八雲学園高等学校の女子生徒手製のお昼ご飯、授業参観、空手部、吹奏楽部披露いただき、北京側は自作の華麗な舞踊の演技で交流を深めた。当学園は国際交流に力を入れていて、全世界、年3~5ヶ国の交流受け入れしているとのこと。夜は学園からほど近い立源寺ホールで中国大使館政治部 付博二等書記官や目黒区竹内文化スポーツ部長らの臨席の下、青年委員会紹介の津軽三味線や舞踊披露の歓迎会になり、大変盛り上がった。(松尾)



北京市青少年文芸交流団

女性委員会 鎌倉散策

女性委員会は、5月9日昨年に引き続き「鎌倉散策」を実施した。目的地は大仏様。鎌倉駅から観光客に人気の江の島電鉄に乗り、長谷で下車。休日でもないのに大仏様へ通ずる道路は人並ぎが絶えない。曇天で散策にはぴったりの天気に参加者は元気に歩き、高德院に到着。高さ11.31mという大仏様を見上げその大きさと、美しさに圧倒された。小学生の遠足の集団が何組も訪れていて、みな熱心に写生をしている。歴史を学びつつ、美しい大仏様を実際に見るということできると子供たちの記憶にいつまでも残ることになるのだろう。



女性委員会 鎌倉散策

女性委員会の参加者もこの青銅で造られた胎内に見学の為に入ってからこの巨大な仏像の一面を見学することが出来た。やはり与謝野晶子が「美男」と詠んだことは、真実だとみな感じ高德院をあとにした。

大仏様を見た後は、鎌倉駅まで戻り、鶴岡八幡宮を見学。石段を上ったところにある楼門には随神像が安置されており、源頼義から徳川家齊まで、その権力と歴史を感じる事の出来るものであった。昨年の北鎌倉散策に続き、2年連続の鎌倉散策は、新緑に恵まれ、文化の香り高い一日となった。(奥真理子)

文化交流委員会 薔薇と蕎麦 神代植物公園と深大寺そばを堪能

文化交流委員会では、快晴の5月25日(土)にバラフェスタで5,000株が咲き誇る神代植物公園の散策と名物・深大寺そばを堪能する『薔薇と蕎麦』と銘打った春のイベントを開催、12名と参加者は少なかったが楽しい1日を過ごした。



文化交流委員会 薔薇と蕎麦

当日は午前10時に京王線「つじが丘」駅に集合、バスに便乗して神代植物公園へ向かう。5月のこの時期はバラをはじめツツジ、ハナミズキ等が園内一杯に見頃を迎え、神代植物公園で一番の季節である。また、大温室では日本のハス、熱帯・温帯のスレン、ペコニア、蘭にサボテン、小笠原の希少植物とまさに世界の植物ワンダーランドに行った気分。昼過ぎには深大寺へお参り、記念撮影。そして、もう一つの目的もある名物・深大寺そばを「矢田部茶屋」で昼食、斎藤文化交流委員長の乾杯の発声。一同、天ぷら、味噌おでん、お蕎麦を十分に堪能。

初めて深大寺に来た参加者は、「いい記念になった。東京に住んでいてこんな場所があって、美味しいお蕎麦を知らなかったのは残念。もう一度来たい」と嬉しい感想を述べていた。昼食後は各自、水生植物園や植物多様性センターの見学をしながらの解散。

役員一覧 (敬称略)

名誉会長：貫洞哲夫、会長(代表理事)：宇都宮徳一郎、常務副会長：須藤誠・中野修、副会長：青木英二・永田哲二・成澤廣修・花川與惣太・松原忠義・三宅進・尾崎隆信・東村邦浩、理事長：栗山眞之、副理事長：秋澤文芳・奥真理子・呉東富・斎藤成・杉本孝一郎・須山加代子・丸山隆司・伊藤洋平・松井啓海・泉実吉・永野剛、常務理事：長谷川神太郎・荒井和子・金久保綾子・金子宏・木下政明・杉山政利・橋本准子・前田久男・渡辺康生・岡田邦男・田島けんじ・中村佑・中川有紀子・林明・渡辺貴美子、理事：森山光伸・内田卓志・海老澤ひさゑ・木下伸子・佐藤勝・高野慶市・戸村啓子・中村瑞子・平井靖人・廣瀬達志・町田文子・鎌滝学・榎戸薫・伊藤育夫・符文卿・柴田好夫・川田大介・于子豪・瀧口賀子・鈴木由希・都野圭子・小山三喜雄・谷川孝司・山川弘・丸井敏子・金杉尚明・佐藤一雄・青木理枝・渡邊洋、監事：田邊恵三・二ノ宮啓吉

青年委員会 セミナー&パネルディスカッション開催

5月25日、東京ウイメンズプラザにて、「中国企業で働く日本人に迫る」をテーマにセミナーとパネルディスカッションを開催。昨年11月の「中国企業で働く女性」に続き、第2弾。

登壇者は、(株)中国電視国際部・羽賀美由紀氏、方正(株)管理本部人事総務グループ・林康弘氏、(株)ECMS ジャパン営業部営業課・喜岡桜氏、NTP(株)経営企画室室長・栗田翔太氏の4名。前回は女性にフォーカスしたのに対し、今回は各企業から年齢性別様々な4名が業界の概況や裏話を披露。第1部では登壇者が会社概要や業務内容などを紹介、続く第2部で中国企業での業務などをテーマにパネルディスカッションが展開され、中国企業への就職が自身に与えた影響や日本企業とのワークライフバランスの違いなどが議題となった。中国と日本の違いとして挙げられたのは、やはり決断力の早さ。中国では、社員各々に与えられる権限も強く、自身の裁量で仕事を進められる点に魅力を感じているという意見も。また、日本企業では組織優先で個人の意見は押し込められがちだが、中国企業では自分の意見を積極的に出していくことで良好なコミュニケーションが取れると同時に、仕事も進むという点が挙げられた。ディスカッションの最後には、今後の中国市場についてソフトコンテツへの注目が高まるのではという意見が多く出た。中国の映画、ドラマ、音楽は、年々質が上がってきており、高い評価を得ている。日本の



青年委員会 セミナーとパネルディスカッション

市場を席卷する日も近いかもしれない。
本セミナーは10月に第3弾開催予定。(鈴木由希)

中国問題を読み解く 5月講座



朱建榮先生

5月16日工学院大学孔子学院で講座「中国問題を読み解く」が行われた。テーマは現在問題となっている「米中貿易戦争」と言われる貿易摩擦問題で講師は朱建榮教授(東洋学園大学)。

米国にある各地の孔子学院は、米国政府も公認していたが、認識は多少変わってきた。今回の貿易問題で端的に言って米国はパニックになっていると言える。現在、米国は大国であり、台頭する中国に圧力をかけるのは歴史の宿命。かつて中国の若者は海外へ出て、様々な先端技術や知識を学んだ。これらの若者たちが現在本国に帰り起業している。日本は戦後、米国・英国に学び真似をして物を売り先進国の仲間入りをした。日本はすでにそうした過程を卒業したが、中国は将にその道をひた走っている。1989年天安門問題、ベルリンの壁の崩壊、ソ連邦の崩壊などがあつたが、鄧小平は決してイデオロギーのトップに立つべきではないし、経済発展に尽力すべきだと語った。中国は政治から離れたところで現在IT産業が急激に発展している。GDPも世界2位となつたし、中国の驚異的なITの発展は、米国にとって脅威であり経済的にも米国も猛追している。中国のこれらの発展を誰も予想することはなかった。大国である米国は、中国の脅威を眺めているわけにはいかない。そのことが米中の貿易問題であり、米国の政府の孔子学院に対する見方の変化だろう。

中野区日中 総会・懇親会開催

中野区日中友好協会は、4月12日(金)総会と懇親会を中野区庁舎内で開催した。当日の出席は12名。総会は、活動報告、会計報告、今後の活動計画などを検討し、長期に亘って低迷の続いている会員の増強、活動の活性化などについて話し合った。その後引き続き懇親会を行った。後楽寮から3人の留学生が参加された。それぞれに自己紹介の後、留学生の方々は日本に関心を持ったきっかけや出身地について語って下さり、それを基に話題も賑やかに盛り上つた。「日本のおもてなし」に感銘を受けたことや「マンガ文化、伝統文化や建物などの保存状態がよいこと」など日頃日本人があまり注意を払っていないこと以外からの目で改めて評価されていることなどが語られたことが印象的であった。また会員の町田忠昭さんが「花岡事件」など歴史の中に埋もれている話題をテーマに話をされた。小希望ながら暖かい交流が行なわれ楽しい会は無事終了した。(奥真理子)



中野区日中 総会・懇親会

千代田区日中 通常総会・懇親会開催

6月8日(土)千代田区日中友好協会は2019年度通常総会・懇親会を神保町・咸亨酒店で開催。石川雅己千代田区長をはじめ、日中友好会館留学生事業部長夏瑛、法政大学国際日本学研究所教授王敏のご来賓からご祝辞。自由民主党東京都連最高顧問内田茂、東京都日中友好協会常務副会長須藤誠、興産信用金庫本店長田中博の各ご来賓と会員にもご挨拶いただいた。今年も東京の中心の千代田区より、日中友好の活動を輪を広げていく。



千代田区日中 通常総会・懇親会

北区日中 定期大会・友好促進懇談会開催

北区日中では去る5月11日(土)、北とびあの会議室において令和元年度の定期大会を開催、全ての議案が承認され、その後、会場を15階ベガサスホールに移し、友好促進懇談会を開催した。54名の参加者の内、後楽寮の寮生や北区内在住の留学生など12名が招待された。開会に先立ち、参加者が壇上に掲げられた日中両国国旗に注目する中、日中両国の国歌演奏がCDにより流された。はじめに花川與惣太会長(北区長)が主催者を代表して挨拶に立ち、来賓の衆議院議員高木啓生先生、都議会議員大松成先生、都日中栗山眞之理事長より祝辞が述べられた。友好議連戸枝大幸会長の乾杯の発声の後、懇談に入った。懇談の途中で女子留学生の二胡演奏と千年前の宮廷舞踊、また歌手・陽二連さんの歌があり、参加者の耳と目を楽しませていた。最後に中国の「海はふるさと」を全員合唱し、大いに友好を深めた後、大崎美代子副会長の閉会の挨拶で楽しく和やかな懇談会の幕を閉じた。



北区日中 定期大会・友好促進懇談会

西東京市日中 天津で日中友好防災講演 防災技術向上に一役

西東京市日中は協会設立15周年を迎え、記念友好事業の一環として、5月21日～24日、渡辺康生、前田久男正副会長、長沢享理事(日中国際協力センター特任部長・高度防災専門家・JICA派遣、北京駐在5年)一行7名を天津市に派遣し、22日に天津市津南区ホテル内会議場で日中友好防災・消防講演、23日に市計画館、市博物館、大学等視察を行った。

当協会には天津出身の会員もあり、この度、民間の世代々、有意義な日中友好活動の要は高度人材交流にあるとの認識に基づき訪中団を派遣した。

講演には天津市外事弁公室の呼び掛けに応じた天津市応急局、市消防救援総隊、市赤十字会国際認証訓練機関幹部、指導員50人余が集まり、消防・防災分野の指揮要領、地下鉄等の毒劇物災害対策、被害者搬送法など理論から実践まで4時間近く、休息時間も惜しんで熱心に講演に聞き入った。講演を知り北京から駆け付けた消防関係者もいた。

団は講演以外に市応急局集中管理センター、津南区消防救援中隊、市赤十字会訓練センターの視察も行い、非常に良好な友人関係を構築できた。

最終日の24日、市外事弁公室との訪中団総括会議では市の感謝の言葉とともに、日中両国民の安全と幸福のため、また両国友好の輪をさらに拡大するため諸事業を展開するため双方努力することに同意した。

具体的には防災交流の継続、留学生の相互派遣(天津南開大学は周恩来総理ゆかりの有名校)、アニメ企業交流、介護事業専門家交流、天津市博物館所蔵の国家級中国歴史文物の紹介



西東京市日中 日中友好防災講演

等が挙げられた。

天津市には昨年7月、第3回東京都日中友好議員連盟訪中団が友好訪問、11月には天津市外事弁公室張鐸秘書長が東京都日中を表敬訪問し、相互交流の基礎ができては始めている。都日中は北京市との友好都市締結40周年を迎え、北京中心の交流が多いが、全国の日中で始まっている多極友好交流の一環とも言える。

会員に学術関係者が多く東京都の重要地区協会の一つに挙げられる当協会は積極的に取り組む所存。

豊島区日中 第31回通常総会・懇親会開催

第31回通常総会が6月3日(月)午後5時より千代田国際語学院内にて行われ、議案は全て承認された。総会后、会場を「永利本店」に移し懇親会が開かれ53名の方々が出席された。

尾崎協会会長の挨拶では、今年の協会創立30周年記念公開講演会に対する協力の謝礼と、来る7月26日(金)に開催する『東アジア文化都市2019豊島開催記念 日中少年親善野球試合(豊島選抜チーム vs 西安チーム)』に対しての一層の協力をお願いがあった。高野の夫区長から「東アジア文化都市2019」に対する区の取り組みについて話され、親善野球試合については豊島区も全面的に協力すると約束して頂いた。宇都宮徳一郎都日中会長からは東京都北京市友好都市提携40周年に相応しい都日中の取り組み・活動について話され、合わせて当協会に対する期待と励ましのお言葉を頂いた。引き続き王偉中国駐東京観光代表処王偉主席代表からはユーモアたっぷりの挨拶を頂いた後、小林俊史豊島区観光協会常任理事の乾杯発声で賑やかに会は始まった。来賓紹介では都日中から須藤誠常務副会長、栗山眞之理事長、高野忠春特任顧問。都議会・区議会議員の13名、区幹部職員8名、他各界から数名が紹介された。

今年は10月に「日中伝統芸能の世界-変面と能」も予定してお



豊島区日中 第31回通常総会・懇親会

り、また関連事業のワールドダンスフェスティバル2019も、(公財)アーツカウンシル東京 Tokyo Tokyo FESTIVAL からの助成が決定し一同張り切っている。昨年に引き続き忙しくなりそうな一年である。